

芦屋

維新 プラス

令和5年 夏号

大原
裕貴

副議長、会派副幹事長、総務常任委員会、3期目39歳
関西学院中学部・関西学院高等部・関西学院
大学経済学部卒業、民間企業でSEとして従事

浅海
洋一郎

会派幹事長、民生文教常任委員会、2期目、31歳
明石高専卒業、民間企業で橋梁設計士として従事

橋本
隆

建設公営企業常任委員会、1期目44歳
潮見幼稚園・潮見小学校・報徳学園高等
学校・甲南大学経営学部卒業、株式会社JCB

会派「日本維新の会」を結成

4月の選挙を経て3人体制となり、総務常任委員会→大原ゆうき、
民生文教常任委員会→浅海洋一郎、
建設公営企業常任委員会→橋本たかし、へ所属しました。
会派の考えを各委員会へ届けてまいります。
そして私たちの会派より、大原ゆうきが副議長に選出されました。

その他の役職について

議長

帰山和也

副議長

大原裕貴

監査委員

川上あさえ

阪神水道企業団議会議員

寺前尊文

委員会に
ついてはこちら



就任のコメント

議長の帰山和也議員を支える存在として、各議員の意見を
くみ取り健全な議会運営に努めます。そして、より開かれた
議会を作るために議会改革にも一層取り組んでいきます。

どうなる?!

JR芦屋駅再開発の今後

市長が変わってJR芦屋駅南側の再開発が注目されています。6月定例会での市長の説明では、現状の計画を大きく変更する考えはないと報告がありました。決められた期間と予算の中で緑化や市民が集える場としての活用を進めたいとの考えも表明していますが、現状は駅前再開発ビルを建設して地権者との合意形成を進める方針です。会派としても市の動向に注視し、これ以上の計画変更による工期の延伸が無いよう努めます

今後のスケジュール

7月

公募
開始

8月

9月

10月

11月

事業者
発表

12月

1月

事業
着手



R5年6月
一般質問

子ども医療費助成について

あさうみ洋一郎

質問の背景

市長の選挙公約で18歳までの医療費無償化（所得制限なし）を挙げていた。実施した場合、**受診者が増える**傾向にあるが、現状も小児科クリニックが数か所に集中して混雑している。



Q. 医療費無償化の拡大は他市の動向や子どもの健康促進を踏まえて必要と考えるが、実施には現場環境の改善も併せて行う必要があるのではないか。



A. 医療費無償化は来年度に拡充できるよう取り組んでいる。医療のオンライン化やマップ作成なども含め、各所クリニックの利用が拡がり現場改善が進むよう検討したい。



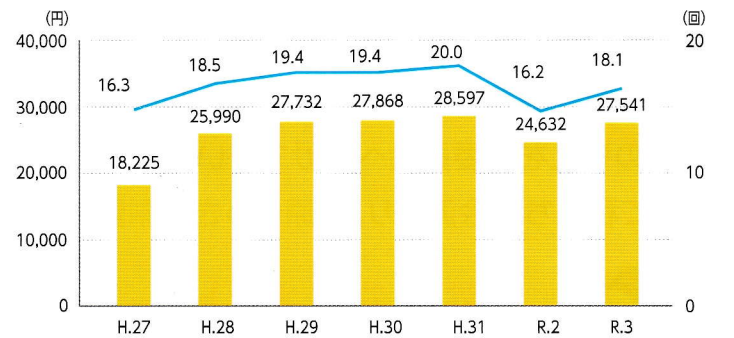
今後の展望

朝から2～3時間待つ小児科も…コロナ禍が明けて利用者が増えています。市内には良い医療機関が多数ありますので子どもが快適に医療を受けるよう制度拡充とともに環境整備を進めます。

その他の質問

- 地域のコミュニティ作りについて

子ども医療助成費(円・回／1人当たり) ■ 助成額(円) — 利用回数(回)



R5年6月
一般質問

給食費の無償化について

橋本たかし

質問の背景

市長の選挙公約で「圧倒的に子育てがしやすい芦屋」を実現することを明言していた。全国の3割の自治体が自主財源で無償化を実現しており、既に子育ての支援の代表的な施策の一つとなっている。



Q. 「圧倒的に子育てがしやすい芦屋」の実現において「給食費の無償化」は不可避であるものとする。これまでの「芦屋市として検討はしない」とのスタンスから変更する考えはあるのか。



A. 政府の少子化対策において、「給食費の無償化」の実態調査が予定されている。芦屋市としては、「給食費の無償化」は国ですべきこととの見解より、その調査結果を見ていきたい。



今後の展望

給食費の無償化は、家計に直接作用し子供の人数に応じた支援の傾斜配分など非常に優れた特徴がある。政府の動向を静観するのではなく、新市長のマネジメントのもと、芦屋市として検討を行うよう引き続き訴えていきたい。

その他の質問

- 部活動の統合運営について
- 「海」に関する有効活用について
- 芦屋市のキャッシュレス決済対応について

2022年度に給食費を無償化した自治体

